



クローズアップ CLOSE UP

歌声でつなぐ国際交流

6月9日、前橋中央イベント広場でまえばしカラオケワールドカップを開催。学生と社会人の2部門に分かれ、合計22組31人が歌声を披露しました。参加者と応援する人の熱気に包まれた会場で、頂点に立った学生の部の優勝者には1日警察署長の権利が与えられました。



空への思いを巡らせて

前橋文学館で6月9日まで『飛行機乗りと風船乗り「ふはりと昇って行かうよ。」ーサン=テグジュペリ・堀越二郎・萩原朔太郎』展を開催。萩原朔太郎など1930年代に空に惹かれた3人の同時代人による空への思いを県立女子大文学部の教授たちのパネル展示で紹介、併せて連続講座も実施しました。



健康な歯を守るために

6月9日に歯と口の健康フェアを中央公民館で開催。ポスターなどの歯科保健作品展や歯科医師による市民歯科相談、歯科技工士による講座などを実施しました。スタンプラリーでは○×形式で歯の正しい知識を学び、正解者には歯ブラシをプレゼントしました。

CITY WATCHING

7月21日(日)に開催される赤城山トレイルランニングレース2024。前身の大会は、主催者の高齢化に伴い、10回大会を最後に終了したが、市まちづくり公社イベントとなった酒井さんが、多くの人の縁もあり昨年に現在の大会が復活を遂げた。

「移住した地で鍋割山を見ながら走る時間は気持ちが豊かになり、生きてることを実感する最高の瞬間です。この赤城山の景観や年齢を重ねても手軽に始めることができるランニングの魅力をもっとたくさんの人に届けて、ランニングやハイキング愛好家だけでなく、地域に暮らす人や観光業を営む人にも笑顔になってほしいです」

酒井さんは多くの人たちにその魅力を伝えるため今後も走り続ける。

いきいき
まえばし人

市まちづくり公社イベント
コーディネート
酒井 修さん・55歳
富士見町時沢



トレイルランニングの魅力感じて

今回は、昨年度新たに赤城の恵ブランド認証品に仲間入りした3つの商品とその生産者を紹介します。

赤城の恵ブランドとは厳しい審査で選び抜かれた市推奨の逸品。角田養鶏の「つのだの平飼卵」とモン・コナモンの「大人の「ONZONフロランタン」・「県都まえばしたまごプリン」が新たに認証されました。

つのだの平飼卵は、鶏たちが自由に動き回れストレスがかからない赤城南麓の養鶏場で飼育された卵。飼料は遺伝子組み換えでないトウモロコシに、鶏の生育状況に合わせて栄養素を足しながら与えています。



代表の角田さんは、「薬物に頼らない元気な鶏からおいしい卵が生まれます。」

濃厚な味わいは生食にも加工にも適しています」と語ります。

そんなこだわりの卵を使用してできたのが大人の「ONZONフロランタン」と県都まえばしたまごプリン。前橋産小麦粉を使用し、一番の特徴である赤城の恵ブランド認証品の「福豚ジャッキー」を練り込んだひと口サイズのフロランタンと、香料などを一切使用せず卵の味を全面に出した昔ながらの固めなプリンは、卵以外の原材料にもこだわった商品です。

オーナーの天川さんは同業者からおいしい卵があると聞き、角田さんに使いたいと直談判。「私の商品の肝は卵。角田さんの卵でなければこの味は出せません」と語ります。

こだわりの卵とそれを使ったこだわりのスイーツ。二人の思いがたくさん詰まった逸品を見かけたら手にとって味わってみてください。販売先は二次元コードのホームページをご覧ください。



角田良雄さんと天川丈生さん